

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年09月04日

計画の名称	大阪港海岸における老朽化施設の緊急対策（防災・安全）（重点）														
計画の期間	平成３１年度　～　令和０３年度（３年間）										重点配分対象の該当	○			
交付対象	大阪市														
計画の目標	老朽化が進む海岸保全施設等の適切な維持管理のため、長寿命化計画に基づき、特に老朽化が進んでいる施設について老朽化対策工事を実施する。														
全体事業費（百万円）		合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		521	A	521	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初		R3末
1	長寿命化計画に基づき、老朽化により所定の機能が確保されていない又は機能低下の恐れのある海岸保全施設のうち、特に緊急に実施すべき施設について、老朽化対策の達成率を0%から100%にする。			
	老朽化対策により所定の機能を確保した施設延長／所定の機能が確保されていない又は機能低下の恐れのある海岸保全施設のうち、特に緊急に実施すべき施設延長	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	
（港湾局）																

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
海岸事業	A09-001	海岸	一般	大阪市	直接	大阪市	老朽化	港湾	大阪港海岸堤防等老朽化 対策緊急事業	堤防補修 1.0km	大阪市						521		策定済	
											小計						521			
											合計						521			

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大阪市（大阪港湾局）にて評価を実施	令和5年8月
	公表の方法
	ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	老朽化等により機能低下の恐れがある施設を修繕することで、老朽化対策の達成率が100%になった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	老朽化等により機能低下の恐れがある施設を修繕することで、施設の機能低下による災害の発生を抑制し、津波・高潮に対する安全性が向上した。
特記事項（今後の方針等）	
一部事業について、引き続き港湾関係補助金の海岸（メンテナンス）事業を活用し老朽化が進む海岸保全施設等の適切な維持管理のため、長寿命化計画に基づき、特に老朽化が進んでいる施設について老朽化対策工事を実施する。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	

社会資本総合整備計画

計画の名称	大阪港海岸における老朽化施設の緊急対策(防災・安全)(重点)		
計画の期間	平成31年度 ～ 令和3年度(3年間)	交付対象	大阪市

大阪港海岸堤防等老朽化対策緊急事業 位置図（本工事費、測量設計費）

